

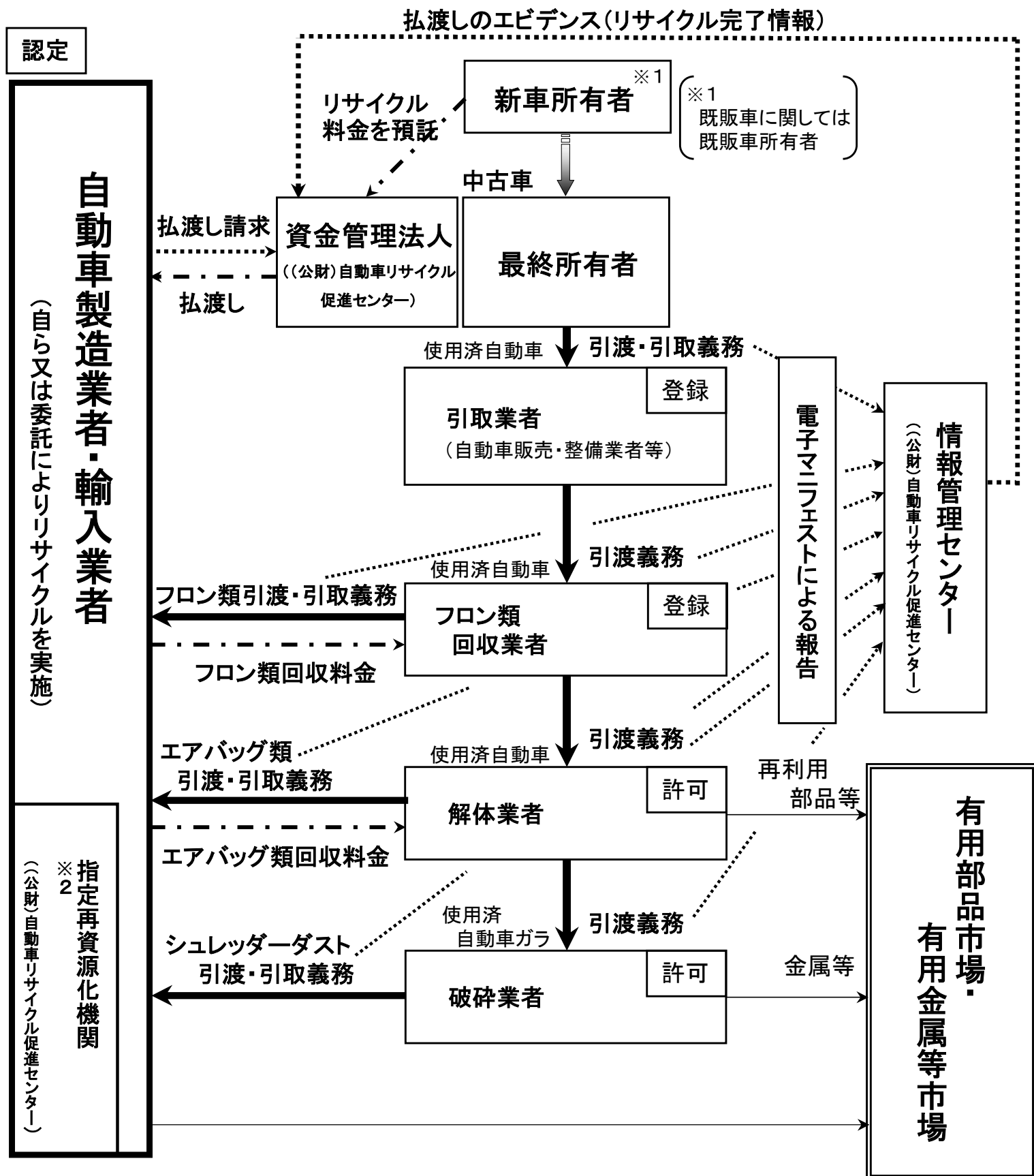
自動車リサイクル法の施行状況

1. 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況
2. 自動車リサイクル法の事業者登録・許可及び執行の状況
3. リサイクル料金の預託状況
4. リサイクル料金の管理・払渡しの状況
5. 自動車リサイクルにおける情報の流れ
6. 不法投棄・不適正保管の状況と対応（離島対策含む）

令和6年1月26日

経済産業省自動車課
環境省リサイクル推進室

「使用済自動車の再資源化等に関する法律」の概念図



情報の流れ

使用済自動車等の流れ

金の流れ

※2 リサイクル義務者が不存在の場合等につき指定再資源化機関が対応。
その他離島対策、不法投棄対策への出えん業務も実施。

令和4年度 自動車リサイクル法の施行状況(概要)

(1) 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況(P3～9)

①令和4年度 使用済自動車引取台数 274万台（令和3年度：304万台）

②令和4年度 自動車製造業者等の3品目の引取状況

品目	フロン類	エアバッグ類	ASR
引取報告件数	2,391,506	2,377,639	2,414,114

③令和4年度 再資源化状況

	リサイクル率(%)	
	シュレッダーダスト	エアバッグ類
基 準	30(平成17年度～)、50(平成22年度～)、70(平成27年度～)	85
令和4年度実績	96.4～97.4	95

(2) 自動車リサイクル法の事業者登録・許可の状況(P10～12)

(令和4年度末時点)

引取業者	フロン類回収業者	解体業者	破砕業者	合計
24,235	8,210	4,273	1,019	37,737

(3) リサイクル料金の預託状況(P13～19)

①令和4年度 預託別実績

	新車登録時	引取時	合計
預託台数	4,389,450	30,180	4,419,630
預託金額(千円)	45,028,417	168,568	45,196,986

②令和4年度 預託台数及び預託金額残高

預託台数(台)※	預託金額残高(千円)
80,962,858	856,708,199

※後付装備は除く。

③令和4年度 輸出返還の状況

輸出による返還台数 (台)	預託返還金額 (千円)
1,290,416	16,453,962

(4) 不法投棄対策、不適正保管及び離島対策の状況(P20～22)

①不法投棄・不適正保管実績(令和4年度末累計)

- 全国の不法投棄・不適正保管車両は、4,777台に減少(前年度末比504台減)。
- 100台以上の大規模案件も減少。(4件、759台:前年度末比1,040台減)

②離島対策の実績

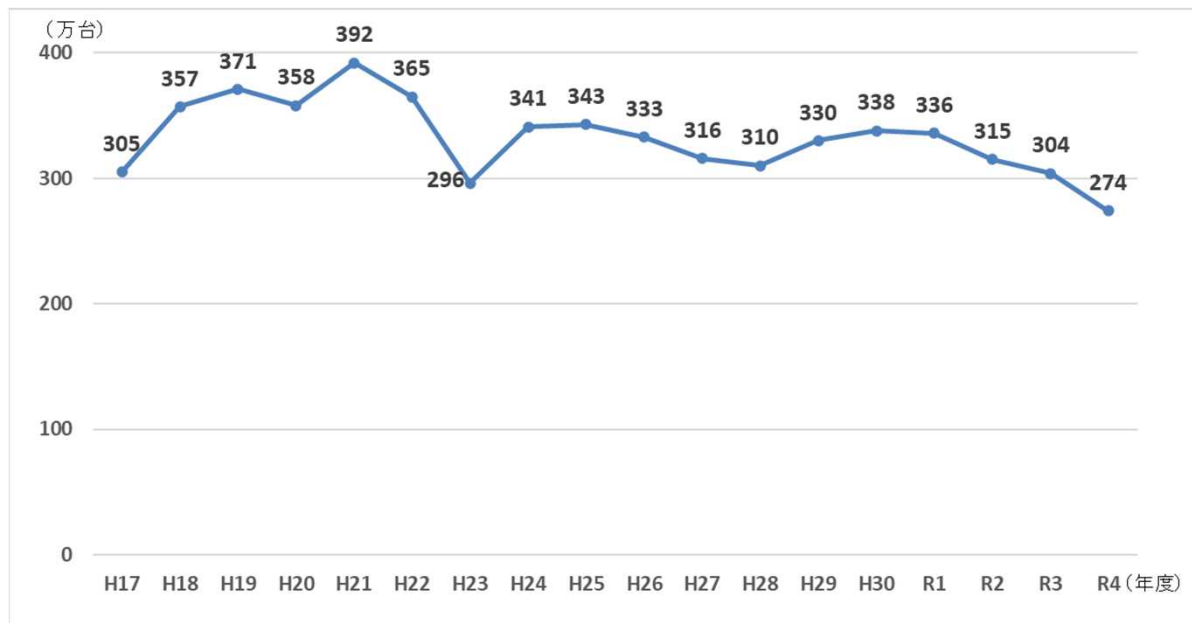
- 令和4年度は、84市町村における、23,632台の処理に対し、支援を実施。
- 令和5年度は、82市町村における、28,232台の処理への支援を計画

1. 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況 ①

①使用済自動車の引取台数

使用済自動車の引取台数は、令和4年度は274万台になった。

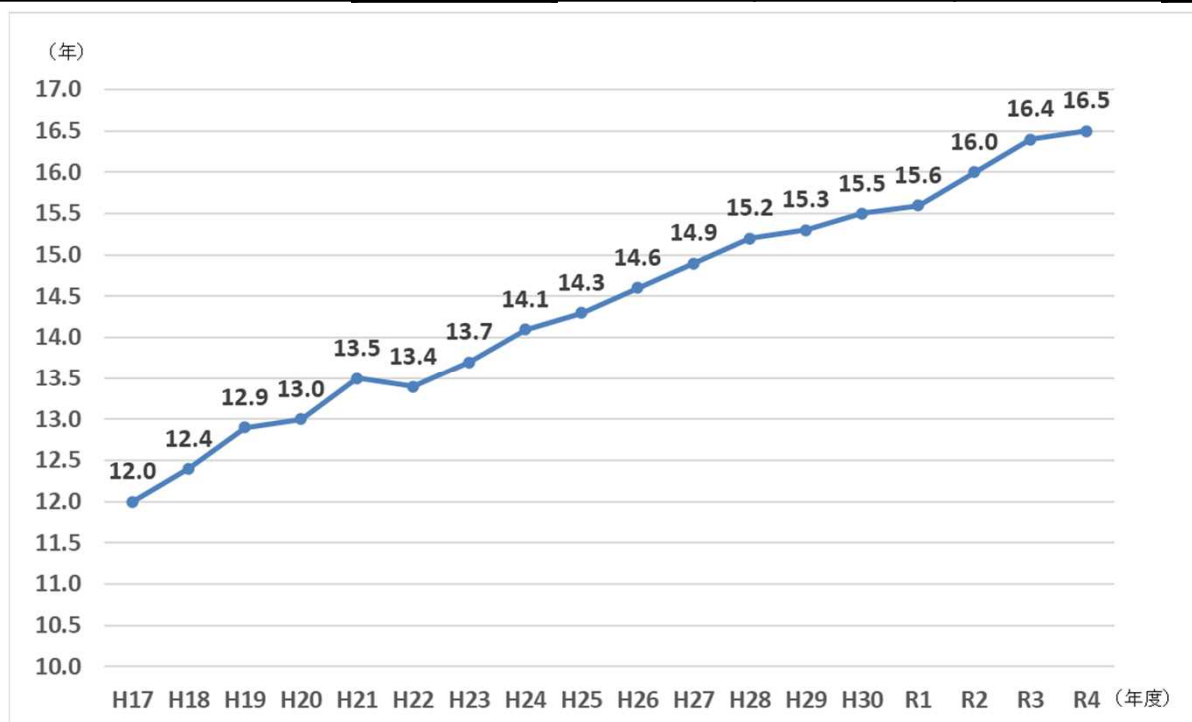
	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
使用済自動車の引取台数(万台)	305	336	315	304	274



②自動車の使用年数

引取車台の平均使用年数は引き続き延伸しており、令和4年度は16.5年になった。

	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
引取車台の使用年数推移(年) (各年度の平均)	12.0	15.6	16.0	16.4	16.5

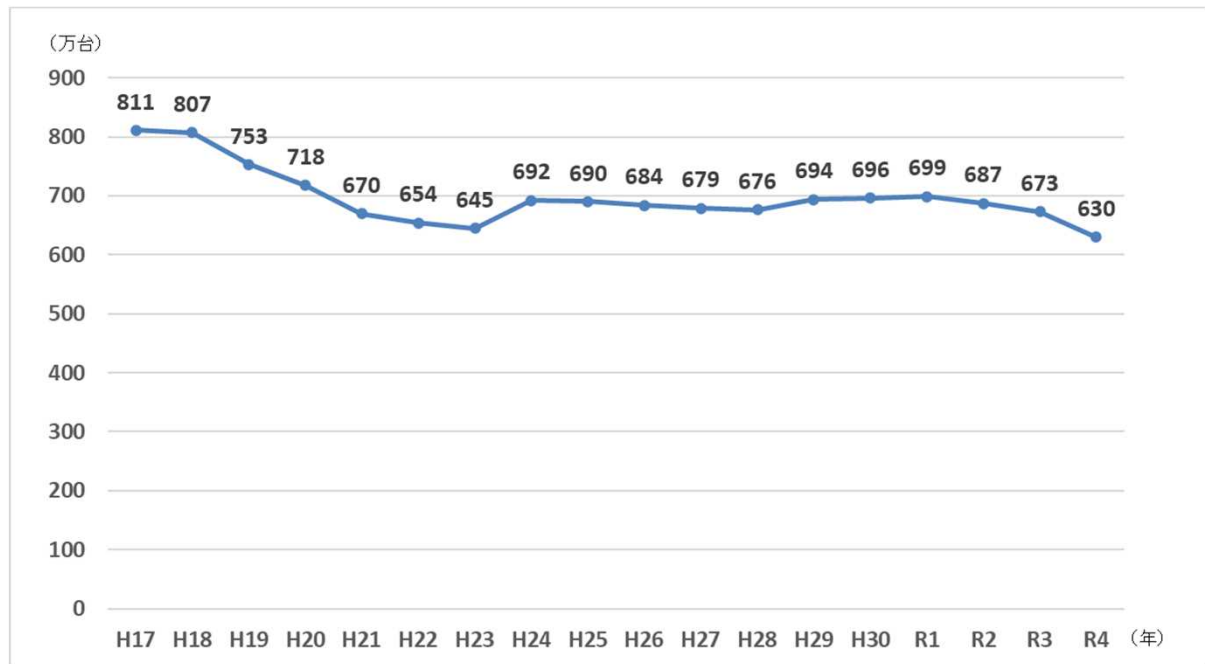


1. 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況 ①

③中古車販売台数

令和4年の中古車販売台数は630万台（前年比6.4%減）。

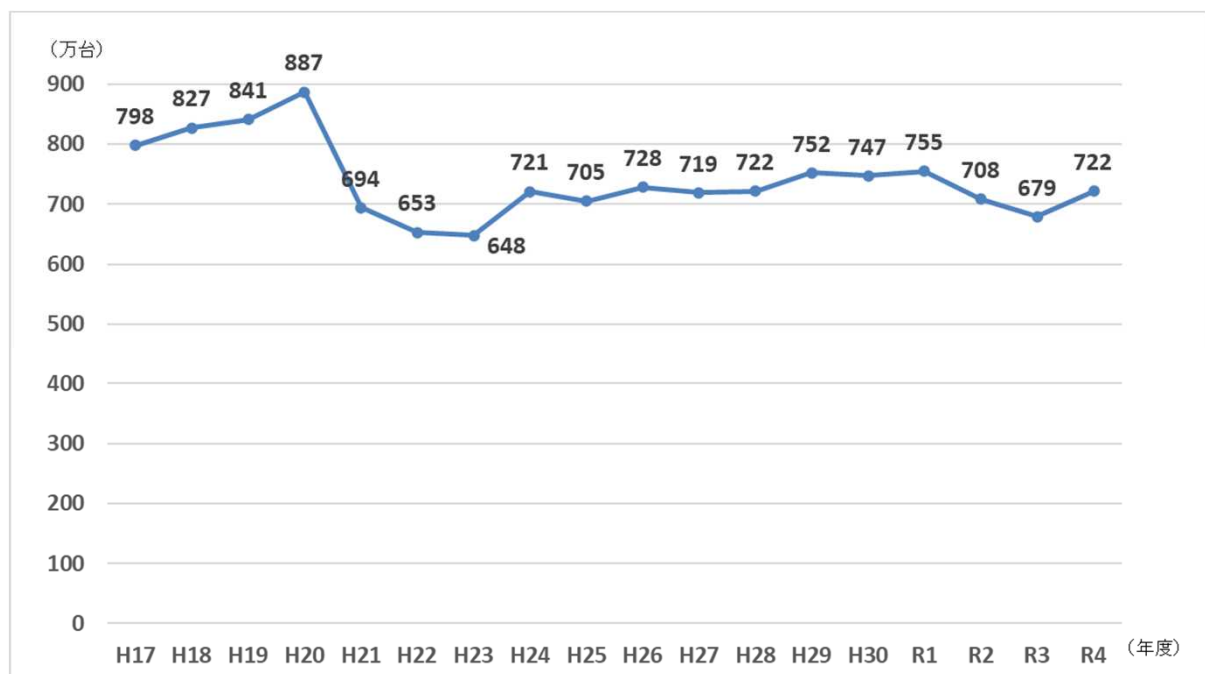
	（法施行時） 平成17年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
中古車販売台数(万台)	811	699	687	673	630



④オークション流通台数

令和4年度のオークション流通台数は722万台（前年度比6.3%増）。

	（法施行時） 平成17年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
オークション流通台数(万台)	798	755	708	679	722

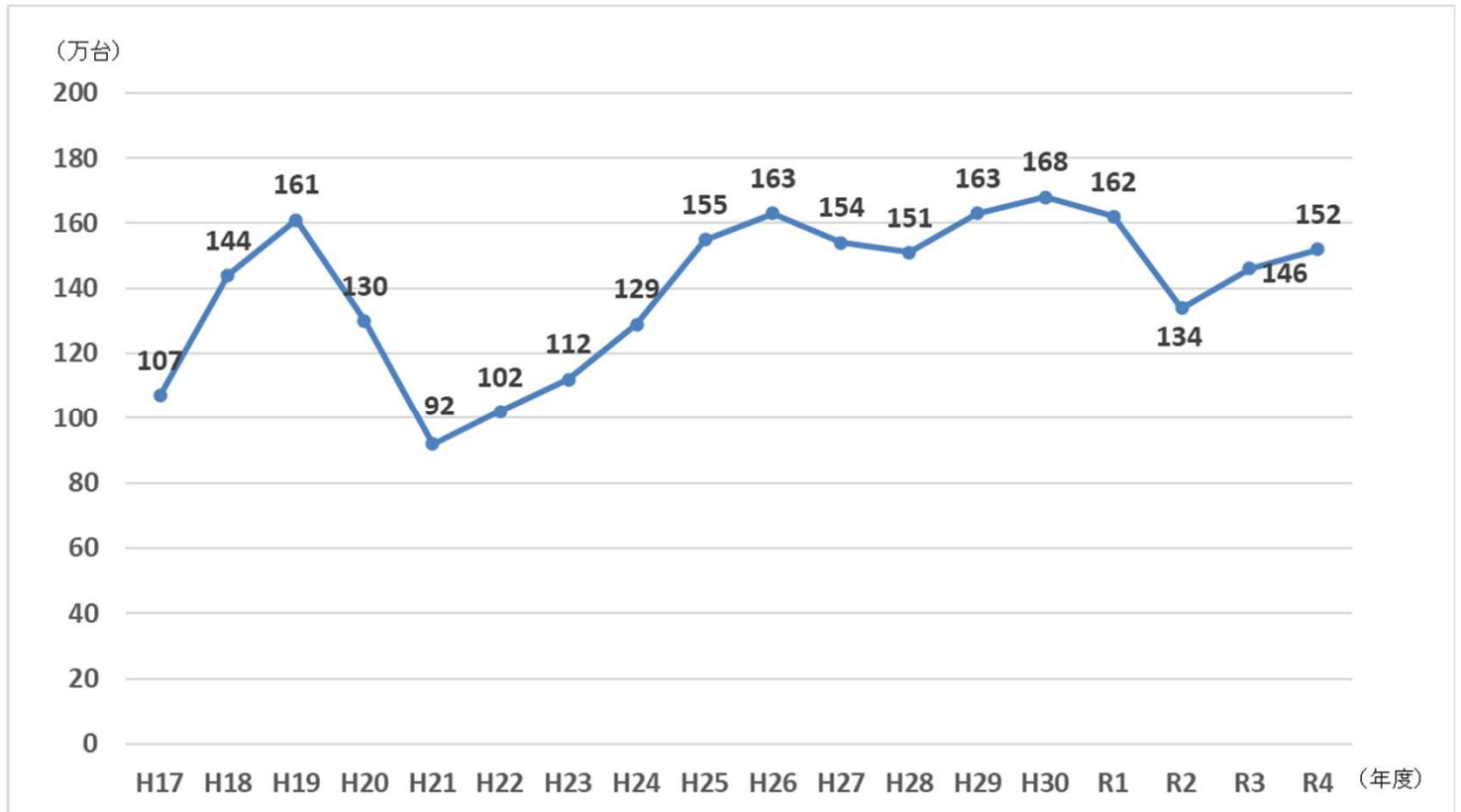


1. 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況 ①

⑤中古自動車の輸出状況

令和4年度の輸出抹消登録台数は152万台（前年比4.1%増）。

	（法施行時） 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
輸出抹消登録台数(万台)	107	162	134	146	152



1. 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況 ②

①特定再資源化等物品の処理体制

(ア)フロン類、エアバッグ類の処理の体制

(一社)自動車再資源化協力機構が自動車製造業者等から委託を受け、一元的にフロン類、エアバッグ類を引き取り、リサイクル及び破壊を実施。

(イ)シュレッダーダスト

規模の利益によるコスト削減、破砕業者の業務円滑化を背景に、以下の2チームにおいてリサイクルを実施中。

ART:

いすゞ自動車(株)、ジャガー・ランドローバー・ジャパン(株)
スズキ(株)、日産自動車(株)、ボルボ・カー・ジャパン(株)
マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、
三菱ふそうトラック・バス(株)、メルセデス・ベンツ日本(株)
(株)SUBARU、UDトラックス(株)、公益財団法人自動車
リサイクル促進センター

THチーム:

ダイハツ工業(株)、トヨタ自動車(株)、日野自動車
(株)、本田技研工業(株)、ビー・エム・ダブリュー
(株)、Stellantis ジャパン(株)、フォルクスワーゲン
グループジャパン(株)

(ウ)自動車製造業者等による再資源化等の体制

分類	事業所数	事業者数
【フロン類】		
Ⅰ. 破壊施設	6	6
Ⅱ. 運搬業者	0	0
Ⅲ. 指定引取場所	6	6
【エアバッグ類】		
Ⅰ. 再資源化施設	10	6
Ⅱ. 運搬業者	21	17
Ⅲ. 指定引取場所	36	12
Ⅳ. 車上作動実施者	1, 150	1, 083
【シュレッダーダスト】		
(ART)		
Ⅰ. 再資源化施設	65	52
うちリサイクル施設	53	41
Ⅱ. 減量・減容固化施設	0	0
(THチーム)		
Ⅰ. 再資源化施設	62	49
うちリサイクル施設	54	41
Ⅱ. 減量・減容固化施設	0	0

全部再資源化	事業者数
(ART)	(161)
解体業者	117
破砕業者	104
全部利用者(電炉等)	25
その他(商社等)	13
(THチーム)	(233)
解体業者	148
破砕業者	134
全部利用者(電炉等)	24
その他(商社等)	11

※ 令和5年12月現在

1. 自動車製造業者等による再資源化等の実施状況 ②

②3品目の引取・再資源化状況(令和4年度実績)

		重量	個数	台数
シュレッダーダスト(ASR)	引取ASR重量(t)	456,890.4	—	2,414,114
	リサイクル施設に投入された重量(t)	456,890.4		—
	リサイクル施設から排出された残さ重量(t)	15,208.4		
	再資源化重量(t)	441,682.0		
	認定全部利用投入のASR相当重量(t)	27,308.0		151,877
	認定全部利用施設投入ASR相当重量(t)	27,308.0		—
	全部利用者から排出された残さ重量(t)	437.6		
	再資源化重量(t)	26,870.4		
エアバッグ類	取外回収個数・台数	—	2,735,900	672,401(※)
	再資源化施設引取重量(kg)	1,675,414.7	—	—
	再資源化重量(kg)	1,597,731.3		
	車上作動処理個数・台数	—	7,905,652	1,749,581(※)
フロン類	CFC引取重量(kg)	1,308.75	—	7,851
	HFC引取重量(kg)	500,559.25		2,383,655

・各社及び指定再資源化機関公表数値を集計

※一部取外回収・一部車上作動処理の実績台数(81,051台)は、取外回収個数・台数(台数)及び車上作動処理個数・台数(台数)の双方に加算

③自動車製造業者等のリサイクル率 ④自動車製造業者等のリサイクルに関する収支

	リサイクル率(%)		収支の状況(百万円)			
	シュレッダーダスト(ASR)	エアバッグ類	払渡しを受けた預託金	再資源化等に要した費用	収支	
基準	70(平成27年度～) 50(平成22年度～) 30(平成17年度～)	85	令和3年度	37.4～7,649.9	48.9～7,516.0	△13.5～441.1
令和3年度	96～97.5	95	令和4年度	34.5～6,672.6	47.4～6,704.3	△40.8～270.1
令和4年度	96.4～97.4	95				

※自動車メーカー、輸入事業者は、再資源化等に直接要した費用の他、資金管理や移動報告に要する情報システム(自動車リサイクルシステム)のプログラム初期構築費用及び一定のシステムランニングコストを負担。

※指定再資源化機関に委託して再資源化等を行う事業者を除く。
各社公開情報ベースのため、有効数字の桁数が異なる。

⑤シュレッダーダストの処理状況等

(ア)ASRの引取量の推移

ASRのリサイクル率は前年度を上回っており、96.8%を達成している。

		(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
引取ASR重量(t)(a) (引取台数)(台) (1台当たりASR重量)(kg/台)		427,508 (2,417,342) (176.9)	567,525 (3,079,780) (184.3)	530,972 (2,835,012) (187.3)	522,062 (2,794,948) (186.8)	456,890 (2,414,114) (189.3)
	リサイクル施設に投入された重量(t)	289,519	563,416	530,014	522,062	456,890
	リサイクル施設から排出された残さ重量(t)	40,588	19,328	20,520	18,793	15,208
	再資源化重量(t)(c)	248,931	544,088	509,494	503,268	441,682
認定全部利用投入のASR相当重量(t)(b) (認定全部利用台数)(台)		52,955 (307,167)	33,530 (187,926)	33,923 (190,331)	28,905 (161,889)	27,308 (151,877)
	認定全部利用施設投入ASR相当重量(t)	49,126	33,530	33,923	28,905	27,308
	全部利用者から排出された残さ重量(t)	928	832	699	494	438
	再資源化重量(t)(d)	48,199	32,699	33,224	28,411	26,870
全部利用率(重量ベース)(b/a+b)		11.0%	5.6%	6.0%	5.2%	5.6%
ASR再資源化率(全義務者平均)((c+d)/(a+b))		61.8%	96.0%	96.1%	96.5%	96.8%
	ASRマテリアルリサイクル率※		28.1%	27.1%	29.0%	29.8
	ASR熱回収率※		68.1%	69.0%	67.4%	66.9

※引取ASRの再資源化状況から推計しており、全部利用投入のASR相当分は計算に含んでいない。

(イ)チーム別ASR再資源化率の状況

ASR再資源化率については、チーム制による競争の結果、高水準で推移している。

	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
THチーム	57.2%	95.8%	95.7%	96.4%	96.7%
ART	66.3%	96.2%	96.5%	96.6%	96.9%

(ウ)チーム別稼働施設の状況

(THチーム/ART)		(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
再資源化施設 (リサイクル施設+焼却・埋立施設)		57/39	64/69	61/65	62/66	63/67
うちリサイクル施設		30/27	54/55	51/52	52/53	54/53
うち両チームで併用している施設		20	53	50	51	51

(エ) 自動車由来の最終処分量

(ア) のとおりASRのリサイクル率は上昇し、最終処分量は減少した。令和4年度の1台当たり最終処分量は6kgとなった。

	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
引取ASR重量(t) (引取台数)(台) (1台当たりASR重量)(kg/台)	427,508 (2,417,342) (176.9)	567,525 (3,079,780) (184.3)	530,972 (2,835,012) (187.3)	522,062 (2,794,948) (186.8)	456,890 (2,414,114) (189.3)
①リサイクル施設から排出された残さ重量(t)	40,588	19,328	20,520	18,793	15,208
②焼却施設から排出された残さ重量(t)(※) (焼却施設に投入されたASR重量(t))	10,226 (32,988)	1,003.1 (3,134.7)	297.1 (958.5)	0	0
③埋立施設に直接投入されたASR重量(t)	105,001	973.7	0	0	0
④最終処分量(t): ①+②+③	155,815	21,305	20,817	18,793	15,208
⑤1台当たり最終処分量(kg): ④÷引取台数	64	7	7	7	6

(※)「②焼却施設から排出された残さ重量」については、焼却施設に投入されたASR重量に灰分率「0.31」を乗じて推計した値

(オ) 全部利用による処理状況(※)

(単位: 件)

工程	令和3年度		令和4年度	
		前年度比		前年度比
解体工程から全部利用へ				
認定全部利用	0	-	0	-
非認定全部利用(電炉)	1,430	68.2%	1,832	128.1%
非認定全部利用(ガラ輸出)	131,011	100.6%	154,294	117.8%
破砕工程から全部利用へ				
認定全部利用	161,889	85.1%	151,877	93.8%
非認定全部利用(電炉)	2,623	44.1%	2,712	103.4%
非認定全部利用(ガラ輸出)	1,682	12.3%	2,904	172.7%

(※) 解体自動車(廃車ガラ)は通常、破砕業者にて破砕処理され、電炉・転炉等において鉄鋼の原料とされる。しかし破砕を経ず、解体自動車をプレス処理し、そのまま鉄鋼の原料として電炉等に投入する場合やスクラップ源として輸出する場合もあり、このように直接、電炉・転炉に投入することなどを全部利用という。

2. 自動車リサイクル法の事業者登録・許可及び執行の状況①

①登録・許可の状況

	事業者数				
	(法施行時) 平成17年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
引取業者	88,122	27,384	27,112	27,088	24,235
フロン類回収業者	23,387	9,163	9,090	9,041	8,210
解体業者	6,251	4,273	4,198	4,231	4,273
うちみなし許可業者	2,172	-	-	-	-
破砕業者	1,224	1,011	1,007	1,007	1,019
(プレス、せん断のみ)	(1101)	(897)	(890)	(893)	(900)
(シュレッダー)	(123)	(114)	(117)	(114)	(119)
うちみなし許可業者	736	-	-	-	-
計	118,984	41,831	41,407	41,367	37,737

※同一事業者が複数の自治体において事業所登録・許可を受けている場合は、各々の自治体にてカウントしている。

②情報管理センターへの事業者・事業所登録状況

	①事業者 (令和4年度末)	②事業所 (令和4年度末)	③引取実績のあった事業所 (令和4年度)
引取業者	22,704	39,508	11,251
フロン類回収業者	7,881	11,711	3,246
解体業者	4,520	4,872	3,251
破砕業者	927	1,206	873
計	36,032	57,297	18,621

2. 自動車リサイクル法の事業者登録・許可及び執行の状況②

①行政処分等の状況

(件数)

	法施行時		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成16年 度以降の 累計
	平成16年 度 (H17.1~ H17.3)	平成17 年度					
関連事業者							
指導・助言(19条)	271	2,621	1,697	1,303	1,052	983	22,813
勧告・命令(20条)	0	13	5	2	2	1	100
引取事業者							
停止(51条)	0	0	0	1	0	0	3
取消(51条)	0	6	1	3	1	1	75
フロン類解体事業者							
停止(58条)	0	0	0	1	0	0	3
取消(58条)	0	6	1	3	0	1	47
解体業者							
停止(66条)	0	0	0	1	0	0	3
取消(66条)	0	3	4	6	2	0	72
破砕業者							
停止(72条)	0	0	0	0	0	0	1
取消(72条)	0	2	0	0	0	0	15
関連事業者及び自動車製造業者等							
勧告・命令(90条)	0	18	2	0	4	0	410
報告徴収(130条)	1	165	24	14	6	5	640
告発	1	3	0	0	0	0	8

②令和4年度停止・取消処分の事例

(停止処分)

なし

(取消処分)

○廃棄物処理法第32条第1項第1号に基づく罰金刑が確定したため。

③自動車リサイクル法違反により告発に至った事案

自治体	処分等の日	処分等の内容	理由
沖縄県	H17/1/17 H17/7/14	告発 刑事処分	無許可破砕
北海道	H17/8/30 H18/1/12	告発 刑事処分	無許可破砕
浜松市	H17/10/26 H18/4/12	告発 刑事処分	無許可破砕
宮城県	H18/3/2 H18/9/13	告発 刑事処分	無登録引取、無許可解体
千葉県	H18/11/10 H18/12/10	告発 刑事処分	無許可解体、無許可破砕
高知県	H20/12/1 H21/7/28	告発 刑事処分	無許可解体、無許可破砕
千葉県	H24/12/4 H25/3/22	告発 刑事処分	解体業者による無許可業者への名義貸し
千葉県	H24/12/4 H25/2/4	告発 刑事処分	無許可解体

3. リサイクル料金の預託状況

① 預託の種類＜平成20年2月～＞

預託種別	対象	預託のタイミング	預託の方法
新車登録時	施行後販売される自動車	新車登録・検査時まで	新車ディーラー等を通じて預託を実施
引 取 時	既販車のうちリサイクル料金が預託されていない自動車	使用済となって引取業者に引渡す時まで	引取業者を通じて預託を実施

※車検時預託は平成20年1月末に終了

② 令和4年度の預託別の実績

	預託台数				
	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新車登録時	5,876,004	5,041,735	4,656,370	4,219,897	4,389,450
車検時	31,054,842				
引取時(※)	2,578,585	40,812	35,383	34,898	30,180
合計	39,509,431	5,082,547	4,691,753	4,254,795	4,419,630

	預託金額(千円)				
	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新車登録時	64,405,692	50,632,883	44,867,699	40,463,261	45,028,417
車検時	290,935,878				
引取時(※)	20,112,752	225,548	198,064	196,025	168,568
合計	375,454,322	50,858,430	45,065,763	40,659,286	45,196,986

(※) 後付預託を含む

③ 令和4年度末時点での預託台数及び預託金額残高

法施行後におけるリサイクル料金の、払渡、輸出返還、特定再資源化預託金等出えん等を控除した預託台数及び金額の残高は以下のとおり。

預託台数(台)(※)	預託金額(千円)
80,962,858	856,708,199

(※) 後付装備は除く

4. リサイクル料金の管理・払渡しの状況

①令和4年度のリサイクル料金の払渡し状況

品目別	件数				
	平成17年度 (法施行時)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ASR	2,610,439	3,256,972	3,025,096	2,993,658	2,582,432
エアバッグ類	429,460	2,835,018	2,681,404	2,678,578	2,393,954
フロン類	2,005,132	2,966,208	2,755,764	2,730,461	2,392,008
情報管理料金	2,880,527	3,371,297	3,131,213	3,118,829	2,732,834
合計	7,925,558	12,429,495	11,593,477	11,521,526	10,101,228

品目別	払渡金額(千円)(※)				
	平成17年度 (法施行時)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ASR	15,277,991	22,759,952	21,286,549	20,959,936	18,258,639
エアバッグ類	793,178	7,697,867	7,331,050	7,321,471	6,563,387
フロン類	4,192,891	7,042,660	6,552,081	6,490,357	5,669,058
情報管理料金	374,469	702,434	672,606	680,269	600,018
合計	20,638,528	38,202,912	35,842,285	35,452,034	31,091,102

(※)金額は利息を含む

②令和4年度におけるリサイクル料金の運用状況

	令和4年度新規取得債券(額面)		令和4年度末運用残高(額面)	
	新規取得債券 (千円)	比率	運用残高(千円)	比率
国債	52,300,000	58.2%	611,971,000	71.6%
政府保証債	6,400,000	7.1%	137,935,000	16.1%
地方債	27,800,000	31.0%	92,800,000	10.9%
財投機関債	2,300,000	2.6%	10,600,000	1.2%
社債	1,000,000	1.1%	1,000,000	0.1%
合計	89,800,000	100%	854,306,000	100%

③令和4年度の輸出返還の状況

	輸出による返還台数	預託金輸出返還 金額合計(千円)(※1)
平成17年度	24,852	244,109
令和元年度	1,535,846	19,685,014
令和2年度	1,178,505	14,927,518
令和3年度	1,344,238	17,231,444
令和4年度	1,290,416	16,453,962
合計(※2)	20,641,467	250,638,442

(※1)金額は利息を含む

(※2)平成17～令和4年度までの合計

④令和4年度の特定再資源化預託金等の発生状況

(単位:千円)

発生年度		法施行時 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ASR	件数	207,593	167,670	183,909	185,661	175,562
	金額	1,208,795	944,425	1,056,448	1,045,759	972,321
エアバッグ類	件数	31,013	155,243	145,042	147,040	130,793
	金額	58,020	363,795	338,303	344,669	305,731
フロン類	件数	36,059	233,476	235,023	254,463	230,160
	金額	75,941	487,623	488,638	528,089	476,919
情報管理 預託金	件数	-	30,260	33,192	36,359	33,463
	金額	-	5,078	5,596	6,388	5,929
総額(年度別)		1,342,756	1,800,921	1,888,985	1,924,904	1,760,900

※金額は利息を含まない

⑤令和4年度の特定再資源化預託金等の出えん等状況

令和4年度は、資金管理業務として資金管理法/指定再資源化機関/情報管理センターに対し約5.0億円の出えん等を行った。

(単位:千円)

	出えん等先			総額(年度別)
	資金管理法	指定再資源化機関	情報管理センター	
平成17年度	-	413,578	-	413,578
令和元年度	-	185,656	165,495	351,151
令和2年度	2,150,654	262,459	33,386	2,446,499
令和3年度	185,796	166,509	54,907	407,213
令和4年度	259,431	186,226	49,522	495,179
合計※	4,729,521	3,129,394	2,260,805	10,119,720

※平成17～令和4年度までの合計

※金額は利息を含む

5. 自動車リサイクルにおける情報の流れ

①自動車リサイクルシステム稼働状況

法施行当初は、資金システムが稼働しないなどのシステム障害が発生していたが、近年は障害件数は減少し、システムは安定的に稼働。

年度	(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画停止日	15	13	12	12	12
障害件数	10	0	0	0	0
安定稼働率(時間ベース)※	94.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※システムが本来稼働すべき時間のうち、障害が発生せずに稼働した時間の割合

②コンタクトセンター稼働状況

令和4年度の間合せ件数は、30,914件となった。

(単位:件)

		(法施行時) 平成17年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
問合せ件数		295,190	33,940	29,485	28,687	30,914
	一般ユーザー	10,066	4,296	4,290	3,161	2,692
		3%	13%	15%	11%	9%
	事業者	285,124	29,644	25,195	25,526	28,222
		97%	87%	85%	89%	91%

※パーセンテージの値は、問い合わせ件数に対する一般ユーザーと事業者の割合

③電子マニフェスト実績報告

(単位:件)

工程種別	引取報告件数		引渡報告件数	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
引取工程	3,042,462	2,739,421	3,051,687	2,746,273
フロン類回収工程	2,721,926	2,440,036	2,724,354	2,440,084
解体工程(※)	3,160,021	2,840,150	3,164,982	2,835,568
	(99,508)	(86,834)	(99,533)	(87,071)
破碎工程(※)	5,243,514	4,629,029	5,339,969	4,662,787
	(2,313,517)	(2,041,481)	(2,314,056)	(2,041,656)

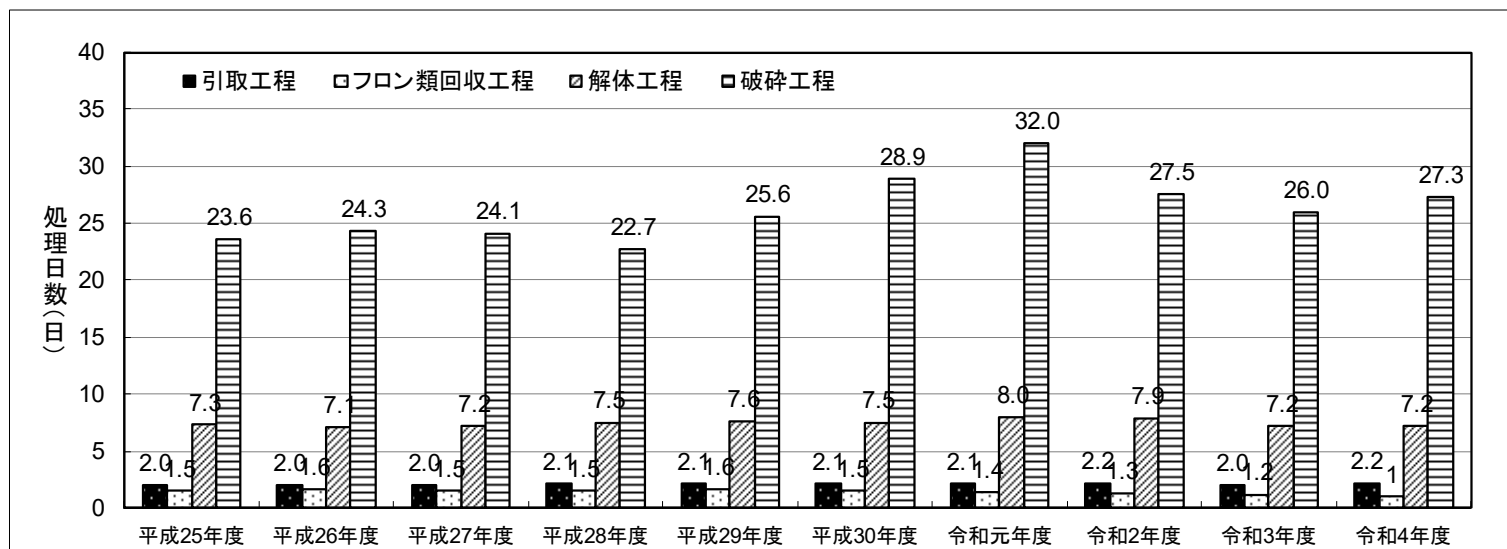
(※)括弧内は同一工程内の移動報告件数(内数)

④自動車製造業者等の3品目の引取状況

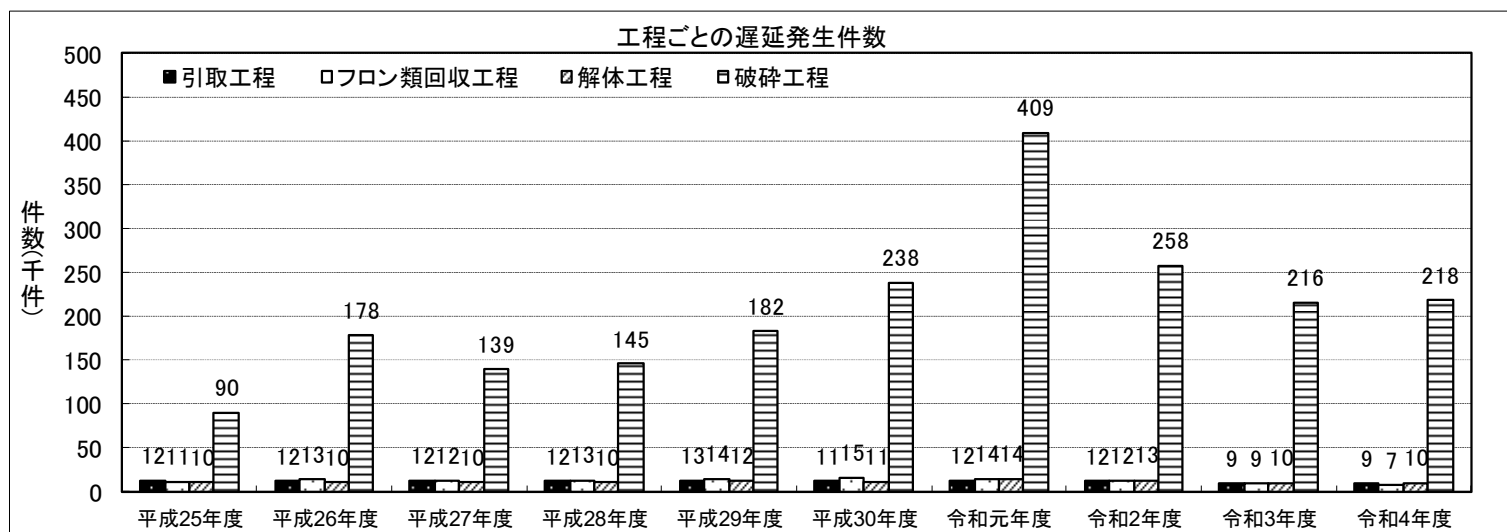
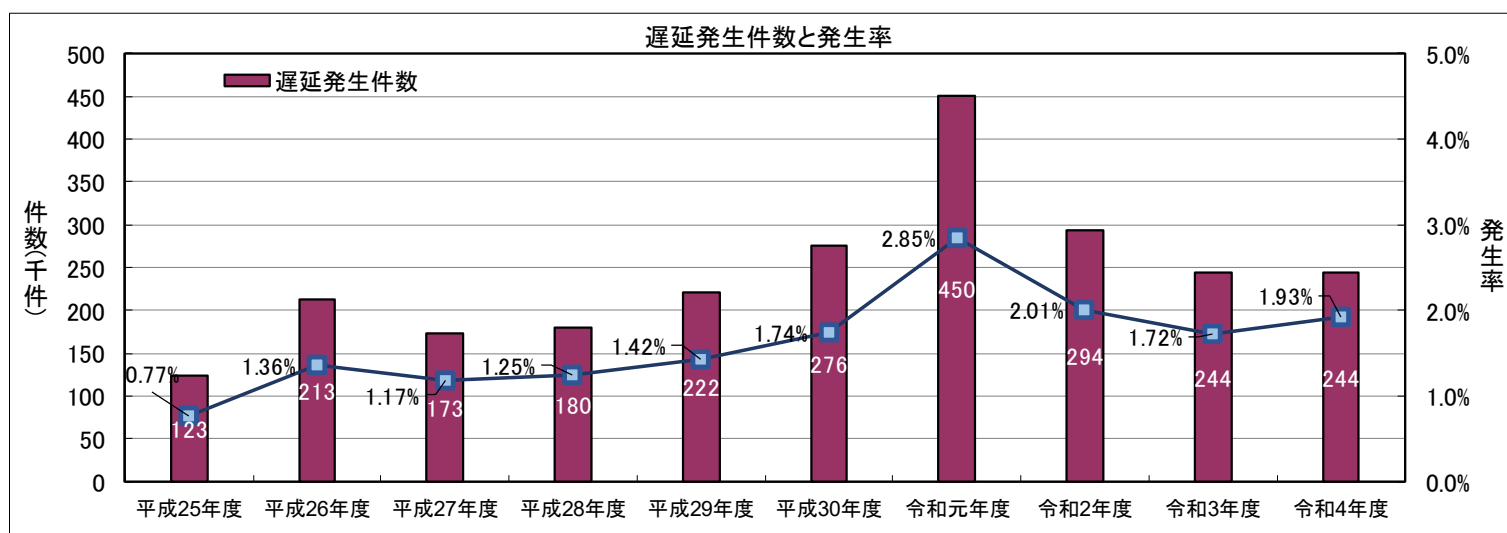
(単位:件)

品目種別	引取報告件数	
	令和3年度	令和4年度
フロン類	2,678,183	2,391,506
エアバッグ類	2,644,525	2,377,639
ASR	2,794,948	2,414,114

⑤工程内平均処理日数



⑥遅延報告発生状況



6. 不法投棄・不適正保管の状況(※)と対応(離島対策含む)

※不法投棄・不適正保管の台数については、各都道府県・保健所設置市等からの各年度における報告を集計したもの。

①不法投棄・不適正保管車両の状況

(單位:台)

		全 国			うち離島分								
		不適正保管		不法投棄	不適正保管		不法投棄						
法 施 行 時	H16.9 末	218,359 —	195,860 —	22,499 —	16,707 —	13,503 —	3,204 —						
	H17.3 末	140,436 (-35.7%)	122,599 (-37.4%)	17,837 (-20.7%)	13,957 (-16.5%)	9,640 (-28.6%)	4,317 (+34.7%)						
R1.3末		4,977 (-97.7%)	4,457 (-97.7%)	520 (-97.7%)	323 (-98.1%)	252 (-98.1%)	71 (-97.8%)						
R2.3末		4,858 (-97.8%)	4,347 (-97.8%)	511 (-97.7%)	228 (-98.6%)	180 (-98.7%)	48 (-98.5%)						
R3.3末		5,754 (-97.4%)	5,194 (-97.3%)	560 (-97.5%)	552 (-96.7%)	506 (-96.3%)	46 (-98.6%)						
R4.3末		5,281 (-97.6%)	4,529 (-97.7%)	752 (-96.7%)	634 (-96.2%)	361 (-97.3%)	273 (-91.5.%)						
R5.3末		4,777 (-97.8%)		4,021 (-97.9%)		756 (-96.6%)		529 (-96.8%)		261 (-98.1%)		268 (-91.6.%)	
		法施行前		法施行後 [うち、令和 4年度に 発生]		法施行前		法施行後 [うち、令和 4年度に 発生]		法施行 前		法施行 後[うち、 令和4 年度に 発生]	
		1,784	2,993 [202]	1,489	2,532 [160]	295	461 [42]	213	316 [1]	18	243 [1]	195	73 [0]

※括弧内は、平成16年9月末の台数との比率

②大規模案件(100台以上)の推移

大規模案件（100台以上）は、1件解消、5件が100台未満に減少し、1件100台以上に増加。

平成16年9月末	平成17年3月末 (法施行時)	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末	令和5年3月末
450件 131,709台	258件 72,516台	8件 1,273台	12件 2,225台	9件 1,799台	4件 759台

③大規模案件(100台以上)の状況

(令和5年3月末時点)

自治体	所在地	不適正保管・ 不法投棄の別	台数	備考
北海道	遠軽町生田原水穂	不適正保管	270	自治体において指導を継続中。
	厚真町浜厚真	不適正保管	160	自治体において指導を継続中。
福島県	白河市大観音前	不適正保管	100	自治体において指導を継続中。
徳島県	阿波市吉野町	不適正保管	229	自治体において指導を継続中。

④不法投棄等対策の概要

【支援実績】

出えん先自治体	北海道札幌市	鹿児島県奄美市	富山県滑川市
実施期間	平成19年11月 1日 ～ 12月15日	平成20年 1月 7日 ～ 2月14日	平成25年 7月22日
投棄場所	札幌市清田区清田	奄美市名瀬大字知名瀬 及び根瀬部	滑川市大日
投棄物の種類	使用済自動車 解体自動車等	使用済自動車 解体自動車等	使用済自動車
投棄物の重量/台数	199.6t	330.0t	1台
処理費用	6,541 千円	14,500 千円	151千円
出えん額	5,233 千円	11,600 千円	121千円

⑤離島対策の概要

令和4年度は、84市町村に対し海上輸送費用を支援。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請市町村数 [計画市町村数]	81 [81]	78 [81]	84 [81]	- [82]
申請台数(台) [計画台数(台)]	25,390 [26,854]	27,931 [27,422]	23,632 [27,853]	- [28,232]
申請額(千円) [計画額(千円)]	122,891 [128,334]	137,757 [123,173]	123,654 [133,751]	- [144,152]
平均輸送単価 (千円／台)	6.1	6.2	6.5	[6.4]